

# 麻につるる



日本麻紡績協会

ASABO / Japan Linen, Ramie & Jute Spinners' Association

## 白岩会長就任ご挨拶

日本麻紡績協会  
会長 白岩 強

日本麻紡績協会 会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は当協会の運営に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて私こと、昨年5月開催の日本麻紡績協会理事会並びに通常総会の選任により会長に就任いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の渦中であって、未だ皆様へのご挨拶もままならぬ日々が続いておりますが、この様な状況にあっても数々のご協力をいただいております皆様に紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

微力ではございますが、今後共 協会の発展の為、鋭意努力致す所存でございますので、何卒ご理解をいただき、尚一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



日本麻紡績協会 会長  
白岩 強

## 麻につつま

## 会長挨拶

|                    |                      |          |
|--------------------|----------------------|----------|
| 目次                 | ・ ・ ・                | 1        |
| ・ 業界レポート           | 2020-2021 年リネン（亜麻）事情 | ・ ・ ・ 2  |
|                    | 2020-2021 年ラミー（苧麻）事情 | ・ ・ ・ 3  |
| ・ 会員企業紹介<br>（五十音順） | 朝日加工株式会社             | ・ ・ ・ 5  |
|                    | 澤染工有限会社              | ・ ・ ・ 6  |
|                    | 新陽株式会社               | ・ ・ ・ 7  |
|                    | 服部テキスタイル株式会社         | ・ ・ ・ 8  |
|                    | ブルーミング中西株式会社         | ・ ・ ・ 11 |
|                    | 株式会社武蔵富装             | ・ ・ ・ 12 |
| ・ お知らせ ①～③         | ・ ・ ・                | 13       |
| ・ 日本麻紡績協会の現況       | ・ ・ ・                | 14       |
| ・ 会員企業一覧           | ・ ・ ・                | 15       |

## 業界レポート

## 2021 年リネン（亜麻）事情

## ① 欧州リネン生産推移 ※原料生産高：Long fibres - Scutched line.（資料：CELC）

2021 年が不作、2020 年に比べ約 5 万 Ha が減産、細番手原料不足、コンテナ不足、原油高などにより値上げ継続。コロナ後の需要回復及び対ロシア制裁に伴いロシアフラックス原料の輸出禁止など原料不足に拍車を掛けていると思われる。

|               | 2017    | 2018    | 2019    | 2020    | 2021    | 2022            |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------|
| 作付面積<br>(Ha)  | 117,483 | 124,092 | 139,610 | 170,000 | 120,000 | 141,000         |
| 原料生産数量<br>(t) | 146,065 | 142,793 | 182,456 | 150,000 | 100,000 | 140,000<br>(予想) |
| 原料価格<br>€/kg  | 3.0     | 3.5     | 3.5     | 3.0     | 3.8     | 未定              |

② 世界各国亜麻全原料（長・短繊維 Before Scutching）生産状況（資料：CELC & CBLFTA）  
〈2019 年フラックス生産量〉

|        |          |        |           |
|--------|----------|--------|-----------|
| ① フランス | 85.0 万トン | ⑤ オランダ | 1.4 万トン   |
| ② ベルギー | 9.4 万トン  | ⑥ 英国   | 0.8 万トン   |
| ③ ロシア  | 4.6 万トン  | ⑦ エジプト | 0.8 万トン   |
| ④ 中国   | 1.7 万トン  | ⑧ その他  | 0.8 万トン   |
|        |          | 合計     | 104.5 万トン |

## ③ 中国リネン及びヘンプ実情（資料：CBLFTA）

2021 亜麻原料輸入数量：

ロング・ファイバー 14.47 万トン、ショート・ファイバー 5.96 万トン

2020 年に対しそれぞれ 25%、35% 伸びている。

中国リネン糸及び織物輸出

- ① 2021 年 糸 2.71 万トン、金額 2.66 億米ドル  
織物 3.17 億 m、金額 9.12 億米ドル  
2020 年に対し金額（糸 + 織物）59.71% 増
- ② ヘンプ糸 2021 年 輸出 1,250 トン、金額：1,304 万米ドル  
ヘンプ織物 2021 年 輸出 261 万 m 金額：1,398 万米ドル  
それぞれ 2020 年対し数量 30%、金額 15% の伸びが見られる。

2021 年 中国亜麻紡績稼働状況 約 70 万鍾稼働 必要原料 16.8 万トン  
2020 年より稼働率回復（約 60 万鍾稼働）。

## 業界レポート

### 2021 年ラミー（苧麻）事情

#### 1. ラミーの栽培状況について

2021 年は栽培面積、生産量、原草価格共に前年とほぼ同水準で推移した。しかし、ここ数年で縮小したマーケットは回復することなく、原料・糸・テキスタイルともに販売品目が全般的に硬直している。

ラミーは昔からの繊維素材として一定の需要はあるものの、新商品による広がり乏しく、長期的な発展には不安な状況が続いている。

その様な状況の中、一定の地方政府が農業政策の一つとしてラミー栽培を支持しており、栽培面積の拡大に期待がかかる。将来的には環境問題に更なる注目が集まり、ラミー 100% の汎用品を安心して生産販売できる水準まで戻る事に期待したい。

#### 2. ラミーの栽培面積及び生産量について（推定）

栽培面積は昨年と変わらず約 7 万畝（4,670Ha）前後と推測される。

その主要産地は四川省で約 5 万畝（3,333Ha）と全体の約 7 割を占める。その他の産地としては湖南省・湖北省・重慶市・江西省が 1.5 から 2 万畝。他は安徽省や広西壮族自治区等の伝統的栽培地で、伝統的な手工芸品用に少量の栽培がおこなわれている。

2021 年度の生産量は前年比約 10% 増加し 11,000t 前後。そのうち四川省では約 8,000t、その他の地域で約 3000t となっている。収穫高のアップは畝の管理が行き届き始めた為と、市中価格が安定していることが主要因と思われる。

#### 3. 原草価格について

原草価格は 2016 年から上がり始め、特に 2018 年と 2019 年は異常なほど高騰、2020 年に高止まり状態となり、2021 年も引き続き同水準の状態が続いた。

また、地域による価格差も出始め、機械化が進みつつある地域の原料価格は手作業で収穫している地域に比べ若干安く市中に出回るようになった。

#### 4. 2022 年の見通しについて

上述の通りラミー原料のビジネスに関しては、この 1 年大きな変化がなく一見安定した需給バランスを保っているように見える。然しながら問題は数多く残されたままになっている。

主なものとして、農民の高齢化と後継者不在、労働力不足、機械化の遅れ等がある。一方栽培に関しては地方政府、業界団体、主要生産企業のバックアップは続いており、農家にとって積極的に栽培を行う環境は整いつつある。いずれにせよ栽培面積と生産量の更なる伸びを期待し、市場回復を願ってやまない。



## 亜麻・苧麻統計表

(単位：千円)

| 品目<br>平成／令和年<br>(1～12月) | 輸入糸    |           |        |         |        |           |
|-------------------------|--------|-----------|--------|---------|--------|-----------|
|                         | 亜麻糸    |           | 苧麻糸    |         | 計      |           |
|                         | 数量 (t) | 金額        | 数量 (t) | 金額      | 数量 (t) | 金額        |
| 平成 21 年                 | 805    | 752,842   | 247    | 198,107 | 1,052  | 950,949   |
| 平成 22 年                 | 903    | 762,908   | 298    | 249,500 | 1,201  | 1,012,408 |
| 平成 23 年                 | 1,315  | 1,243,565 | 338    | 269,174 | 1,653  | 1,512,739 |
| 平成 24 年                 | 1,172  | 1,099,260 | 262    | 232,549 | 1,434  | 1,331,809 |
| 平成 25 年                 | 1,574  | 1,730,654 | 294    | 327,287 | 1,868  | 2,057,941 |
| 平成 26 年                 | 1,452  | 1,826,471 | 315    | 380,177 | 1,767  | 2,206,648 |
| 平成 27 年                 | 1,512  | 2,149,292 | 307    | 448,620 | 1,819  | 2,597,912 |
| 平成 28 年                 | 1,178  | 1,410,512 | 215    | 278,070 | 1,393  | 1,688,582 |
| 平成 29 年                 | 1,294  | 1,490,800 | 220    | 299,854 | 1,514  | 1,790,654 |
| 平成 30 年                 | 1,382  | 1,737,013 | 225    | 360,732 | 1,607  | 2,097,745 |
| 令和元年                    | 1,315  | 1,751,145 | 163    | 272,176 | 1,478  | 2,023,321 |
| 令和 2 年                  | 652    | 809,137   | 78     | 151,478 | 730    | 960,615   |
| 令和 3 年                  | 819    | 1,091,591 | 74     | 152,199 | 893    | 1,243,790 |

(注) 財務省日本貿易統計による。

(単位：千円)

| 品目<br>平成／令和年<br>(1～12月) | 輸入織物    |           |         |         |         |           | 輸入ハンカチ    |        |
|-------------------------|---------|-----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|--------|
|                         | 亜麻織物    |           | 苧麻織物    |         | 計       |           | 亜麻・苧麻ハンカチ |        |
|                         | (1～12月) | 金額        | 数量 (千㎡) | 金額      | 数量 (千㎡) | 金額        | 数量 (千枚)   | 金額     |
| 平成 21 年                 | 6,224   | 1,769,982 | 995     | 275,402 | 7,219   | 2,045,384 | 331       | 62,549 |
| 平成 22 年                 | 6,244   | 1,827,638 | 618     | 178,334 | 6,862   | 2,005,972 | 219       | 32,372 |
| 平成 23 年                 | 6,954   | 2,351,660 | 928     | 247,210 | 7,882   | 2,598,870 | 114       | 25,943 |
| 平成 24 年                 | 6,702   | 2,330,368 | 646     | 204,931 | 7,348   | 2,535,299 | 124       | 36,842 |
| 平成 25 年                 | 7,134   | 2,878,201 | 717     | 239,543 | 7,851   | 3,117,744 | 81        | 40,658 |
| 平成 26 年                 | 7,365   | 3,236,254 | 687     | 274,121 | 8,052   | 3,510,375 | 85        | 44,298 |
| 平成 27 年                 | 6,822   | 3,258,646 | 796     | 289,496 | 7,618   | 3,548,142 | 87        | 38,013 |
| 平成 28 年                 | 7,642   | 3,037,204 | 640     | 219,255 | 8,282   | 3,256,459 | 83        | 32,654 |
| 平成 29 年                 | 7,624   | 3,019,338 | 605     | 212,452 | 8,229   | 3,231,790 | 86        | 36,624 |
| 平成 30 年                 | 7,609   | 3,289,511 | 674     | 269,854 | 8,283   | 3,559,365 | 61        | 29,381 |
| 令和元年                    | 7,683   | 3,248,368 | 426     | 184,789 | 8,109   | 3,433,157 | 57        | 26,299 |
| 令和 2 年                  | 6,347   | 2,345,238 | 383     | 175,882 | 6,730   | 2,521,120 | 76        | 23,444 |
| 令和 3 年                  | 5,944   | 2,238,410 | 286     | 134,794 | 6,230   | 2,373,204 | 56        | 19,704 |

(注) 財務省日本貿易統計による。

## 会員企業紹介 (五十音順)

### 朝日加工株式会社

代表取締役社長 小河原 正幸

当社は大阪泉州地区にて繊維織物の染色整理業を営んでおります。綿・麻の天然繊維からナイロン・ポリエステル・アクリル・ビニロンなどの合成繊維、また短繊維・長繊維から不織布を扱い、加工機械はシルケット機、連続染色機、ジグガー染色機（常温、高圧）コート機、テンター等を保有する国内でも屈指の幅広い事業領域・加工技術を有する企業です。

また、製品販売課として繊維製品の制作、販売、環境エンジニアリング部門として、S字管式排熱回収装置「エコメリット」、水流式環境改善装置「ケスマック」「ミストグリップ」などの販売、設置を行っております。

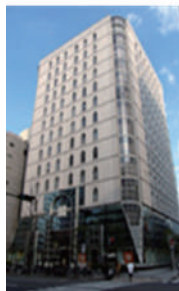


#### 【会社概要】

|    |       |            |                                                                                 |
|----|-------|------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 住所 | 阪和工場  | 〒 595-0803 | 大阪府泉北郡忠岡町北出 2 丁目 17 番 20 号<br>Tel 0725-32-5781 Fax 阪和工場 0725-23-1798            |
|    | 本社    | 〒 541-0054 | 大阪市中央区南本町 1 丁目 8 番 14 号<br>JRE 堺筋本町ビル 8 階<br>Tel 06-6271-2046 Fax 06-6271-2060  |
|    | 東京営業所 | 〒 103-0006 | 東京都中央区日本橋富沢町 12 番 20 号<br>日本橋 T & D ビル 6 階<br>Tel 03-3661-8118 Fax 03-3661-7782 |

設立 1943 年 10 月 7 日

資本金 8000 万円



大阪本社  
JRE 堺筋本町ビル 8 階



東京営業所  
日本橋 T & D ビル 6 階

## 会員企業紹介

### 澤染工有限会社

代表取締役 澤 宏一郎

当社は、1930年（昭和5年）京都の西陣にて創業。経営理念「心を磨き技を極む」のもと、現在は滋賀県の麻の産地にて染色加工場を営んでおります。創業以来、「伝統と革新」をテーマに「絹から麻」「先染めも後染めも」「無地染めも多色染めも」など時代の環境変化に対応しながら、また皆様のご支援をいただきながら、今日まで事業を続けさせていただいております。



また、私たちのミッションである【古来より豊かさの象徴は「色」であり、世界中の人々がより豊かで潤いある文化生活を営むために、私たちは創意と挑戦心のもと、染色文化を伝承し続ける。】を遂行するために、そして、「お客様のベネフィットの創出」のために、全社をあげてこれからを担う人財の育成と染色に関わる事業全般に取り組んでおります。

#### 【事業の特徴】

- ① カセ糸染色（自社出資の外注工場あり）、チーズ染色（全て社内で管理）、後染め液流染色のそれぞれのノウハウを活かした染色加工技術。
- ② 各種素材（麻、綿、シルク、ウール、ナイロン、ポリエステルなど）、用途（織物、ニット、資材など）に合わせた染色方法の選択と染色加工に対応。

#### 【会社概要】

住所 〒521-1204 滋賀県東近江市小川町949

連絡先 TEL 0748-42-0317 FAX 0748-41-6022

e-mail somenosuke@herb.ocn.ne.jp

業種 染色整理業

取扱品 先染め（カセ糸染色、チーズ染色、スペースダイイング、特殊染色）

後染め（常圧液流染色、高圧液流染色）

設立 1964年11月7日

資本金 10,000千円

社員数 28名





## 会員企業紹介

### 新陽株式会社

代表取締役 倉持 真一

1976年（昭和51年）2月、麻紡績関係各社のご支援も頂き、私共新陽（株）は創業致しました。それ以降、防衛や警察等、国家の基本である安全保障に関わる仕事に携わらせて頂き、今年で47年目となります。

さて、私共の主要顧客のひとつである防衛分野における、麻素材についての活用・貢献について少しご紹介させていただきます。

我が国の自衛隊は1954年（昭和29年）保安隊を経て設立され、旧軍～GHQの下で、個人装具・被服・天幕等の仕様が決められました。

1953年（昭和28年）※自衛隊が設立される前年に制式化された『雨衣53式』。現在では常装用の雨衣と、戦闘用雨具に分けられていますが、当時は常装用と訓練用が一体でありました。構造は前身がダブルとなっており、腕を怪我した際には、裾部を上げて三角布として使用できるようになっていました。素材は、タテ糸／綿、ヨコ糸／麻の綿麻交織で、防水（撥水）加工はしていました。余り効果は有りませんでした。麻の水に濡れれば膨潤する性能が役に立った訳です。

その後、化学繊維の発達により仕様書の見直しが行われ1969年（昭和44年）にタテ糸／綿ポリエステル混、ヨコ糸／麻の交織品が、『作業外被69式(OD)』として採用されました。やはり麻の膨潤性能が改めて認められた結果です。しかしながら業界の競争は激しく、特に軽くて丈夫なナイロンとは熾烈な争いでした。

日本を支えていた繊維産業でしたが、1972年の沖縄返還を期に業界の後退が少しずつ進行して行きました。

しかし『作業外被69式(OD)』は2005年（平成17年）まで継続して採用され、その後、『作業外被迷彩』として2006年から2010年（平成22年）までは再生ポリエステルを使うなど環境に配慮し、2011年（平成23年）から、タテ糸／麻アラミド混 ヨコ糸／難燃アクリルの仕様となり、53式雨衣から環境に適応した仕様で約70年間（その後、延べ約200万点の納入実績）、防衛分野において麻が使われている事は麻業界関係者の努力の結晶であります。私共は民間が出来る安全保障として、また、防衛生産基盤の一員として今後も引き続き貢献、尽力して参りたいと思います。

#### 【会社概要】

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 称号   | 新陽株式会社                                           |
| 創業   | 1975年（昭和50年）                                     |
| 資本金  | 2億5,500万円                                        |
| 本社   | 東京都中央区日本橋室町4-3-5<br>室四ビル                         |
| 事業内容 | 繊維製品を中心とした商社 繊維製品、防災用品、厨房器材、その他機械類の等の卸売事業や環境関連事業 |



## 会員企業紹介

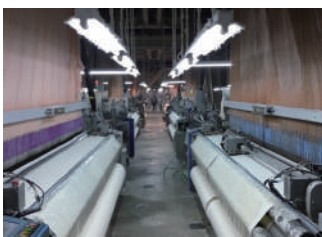
### 服部テキスタイル株式会社

代表取締役 服部 茂和

- 1959 年 会社設立
- 1977 年 超広幅織機を導入し、賃織物工場から脱皮。テーブルクロスに特化し、ホテル用テーブルクロスの直販を開始
- 1984 年 株式会社シキボウと共同で、日本初の超撥水加工テーブルクロスの開発に成功。ブルーミング中西の企画として採用され、日本で初めて超撥水加工テーブルクロスを生産し、新たな市場を創出して撥水加工が家庭用テーブルクロスの業界標準に
- 1986 年 東洋紡績と共同で、エジプト超長繊維綿「イシス」のテーブルクロスを開発。高級ホテルにおいて、日本の最高級品として評価される。  
現在もギザクラブ® テーブルとして継承され、東京ステーションホテル、ホテルオークラ、J R 東日本クルーズトレイン四季島、パレスホテル、マンダリンオリエンタル、エディション東京虎ノ門など様々な高級ホテルで採用  
テイジン・日清紡・住商テキスタイル・中西義兵商店と共同で、黒ずまない T C のホテルリネン（ホワイティーホワイト）を開発し、日本で初めてホテル業界にポリエステル綿混のテーブルクロスを供給  
「ホテル西洋銀座」開業に向け、西武百貨店の依頼により、日本で初めてエジプト超長綿（沖物産・カネボウの「フィックス」糸）の 340cm 幅のベッドリネンを生産。日本の高級ホテルでエジプト綿が使用される発端となる
- 1987 年 日本のホテル用ベッドリネンが 24 番細布と 36 番パーケルしか無かった時代に、ベッドリネンに最適な綿花と燃回数を工夫したサンホーキン綿の「オアシス」シーツを開発して市場に投入
- 1988 年 日本で初めてジャカード仕様の超広幅革新織機「スルザー」を導入し、高品質大量生産に乗り出す
- 1990 年 北播織物工業組合織物（先染織物整理加工場）を買収し、F S 事業部として先染織物加工事業を開始
- 1993 年 F S 事業部隣地に新工場を建設。節水型高压液流染色機、ネットドライヤー、ピーティング機など、先染織物の特殊機械を多数導入し、播州織（先染織物）の整理加工のパイロット企業として播州産地に貢献開始  
日本では他に類を見ない 400cm 幅の機械類、毛焼き、シルケット機、精練漂白機、染色機、樹脂加工機などを導入し、織・晒・染・仕上・縫製で糸から製品まで作り上げる自己完結型メーカーとしての基礎を構築  
高压液流染色機を導入し、350cm 幅のポリエステル染色仕上げを開始  
短・長繊維の織物生産の確立で、ホテルリネンを生産
- 1994 年 服部製エジプト綿ベッドリネンがパークハイアット東京で採用  
豊田自動織機と共同で日本初の超広幅ジャカード開口エアージェット織機を開発し、力織機による毎分 80 回転から毎分 500 回転へと生産力を増強。需要が高まる超広幅テーブルクロスの供給を開始
- 1995 年 コンピューターカラーマッチング (CCM)、ピーカー試験機を導入し、染色技術を確立。当時、日本で最大幅 (250cm 幅) を誇る日清紡績株式会社の美合工場の仕上幅を凌ぎ、ホテルのベッドリネンとして不可欠な 300cm 幅の晒染工場を確立。



- ホテルのダブルベッド以上のワイドベッドを対象としたパーケルシートを生産供給
- 1997 年 服部製エジプト綿ベッドリネンが「リッツカールトン大阪」で採用
- 2000 年 390cm 幅のエアージェットとグリッパー織機導入で完全革新織機化を実現
- 2003 年 先染織物の高品質化と量産化を目指して、旧株式会社トクタケの先染織物整理加工工場を買収し、180cm 幅の高速連続整理加工設備（毛焼き、糊抜き、精錬漂白、シルケット、樹脂加工、カレンダー、サンフォライズ設備）を導入し、月産 130 万 m 設備で月産 100 万 m を加工して播州織先染産地に貢献
- 2005 年 中小企業基盤整備機構の援助を受け、下請け取引から脱皮する自立事業を開始
- 2009 年 テーブルリネン、ベッドリネン、ルームリネン、バスリネン、スリッパなどホテルで使用するすべてのリネン類の開発・生産・販売を開始
- 2010 年 エジプト超長綿の最高級ベッドリネン「ギザクラブ®」が完成。世界の最高級ベッドリネンと肩を並べる評価を得る
- 350cm 全面自由柄の大容量ジャカード設備を導入して新商品開発
- 2011 年 エジプト超長綿「ギザクラブ」のベッドリネンがペニンシュラ東京で、テーブルクロスが東京ステーションホテルで採用
- 2012 年 兵庫県の支援を受け、エジプト綿製品「ギザクラブ」、高級亜麻製品「リネンクラブ」、スーピマ製品「ピマクラブ」を商標登録
- エジプト超長綿「ギザクラブ」のベッドリネンがパレスホテル東京で採用
- 2013 年 事業活動で排出する CO2 量を太陽光発電で相殺するカーボンニュートラル方針を決定
- 2014 年 エジプト超長綿「ギザクラブ」のベッドリネンがアンダーズ東京で採用
- 2015 年 星のや軽井沢、星のや富士で「ギザクラブ®」が採用
- 500KW の太陽光発電所を建設
- 2016 年 星のや東京、アマン合歓（アマネム）で「ギザクラブ®」が採用
- 750KW の太陽光発電所を新設
- 2018 年 FS 事業部の播州織先染織物整理加工場における高付加価値加工としてのパイロット的役割を終え、整理加工場を閉鎖
- 2020 年 星のや沖縄、ホテルザ三井京都で「ギザクラブ®」が採用
- 650KW の太陽光発電所を新設
- 2021 年 整理加工場跡地に 1.6MW の太陽光発電所を新設しカーボンニュートラル実現



「ギザクラブ®」は、ペニンシュラ東京、パレスホテル東京、アンダーズ東京、星のや、アマン合歓、ザホテル青龍京都清水、ムニ京都、ホテルザ三井京都のベッドリネンとして利用され、さらにパレスホテル東京、ザプリンス東京紀尾井町、ホテルニューオータニエクゼクティブハウス「禅」、エディション東京虎ノ門、インターコンチネンタルホテル横浜ピア 8、アンダーズ東京、などのパジャマにご利用いただき、最高級ルームリネンの地位を確立しています。

「リネンクラブ®」は現在、宮内庁、帝国ホテル、赤坂迎賓館、京都迎賓館をはじめ、様々な高級ホテル・レストランのテーブルクロスやナフキンとしてご利用いただいています。さらに 340cm 幅の「リネンクラブ®」ベッドリネンがご家庭用にご購入いただいています。

「環境保全」面では、大小合わせて 4MW 超える太陽光発電所の建設で、地球温暖化防止対策として「カーボンニュートラル」を実現しています。

「安全快適」面では、工場内には一切のホルマリンを持ち込まず、完全ノーホルマリン製品の生産をしており、当社品は全てベビーに使用できる安全な生産を実現しています。

「SDGS 政策」では、GOTS 認証薬剤以外は使用しない、ケミカルレス加工を開発し、自然と人に優しい加工品「ナチュラルクラブ」を確立しています。

「シルククラブ」高級素材であるシルクでも正絹、絹紡糸を問わず、300cm を超える超広幅織物を生産し、白化現象と強度低下を抑えた高機能のウオッシュャブルシルク「シルククラブ」のベッドリネンやルームリネンなどの開発を進めています。

#### 服部テキスタイルの経営哲学

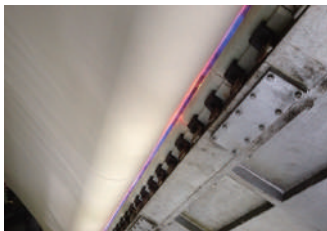
- 人に優しいものづくりを目指し、ノーホルマリン工場で安全なものづくりを追求する
- 環境負荷の少ないサステナブルなものづくりを目指す
- 地球温暖化防止のためにカーボンニュートラルを実現し、維持する
- 中国のウイグル人に対する人権侵害を非難し、新疆綿の生産・取り扱いを中止し、利益より人権を優先する
- G O T S 認証に向かって進む
- 不可能の概念を打ち破り、常識にとらわれない新たな価値づくりに奮闘する

#### 服部テキスタイルのものづくり哲学

- 350cm 幅の超ワイドな綿・麻・シルク・ポリエステル製の織・晒染・加工を実現
- 綿、麻、シルクなど世界最高級原料で 300cm 幅の生地をラインアップ
- 糸、巻、原反、加工反を 1 点毎に ID ナンバーをつけてトレサビリティを実現
- 依頼会社の認証の協力工場として OCS、GOTS の認証品の生産管理を実現

日本唯一の超広幅ホテルリネンメーカーとして日々研究・開発を進め、新しい技術を確立しながら新しい時代に挑戦し続けています。

会員の皆様方とのコラボや、ご指導を期待しています。よろしくお願いします。





## 会員企業紹介

### ブルーミング中西株式会社

取締役社長 中西 一

弊社創業者初代中西儀兵衛は、維新後間もない1879年（明治12年）、日本橋葺屋町に30歳で欧米雑貨洋物商「中西儀兵衛商店」を開店、当時はハンカチーフ、手袋、洋傘などを取り扱ってまいりました。ここから始まり、明治19年にはハンカチーフ専業にふみきり文明開化の先陣となり、明治後期にはハンカチーフ生地の国産化を手掛けるまでになりました。

その後昭和7年、株式会社に改組し近代化を推進していくなか、第二次大戦を経て、1948年（昭和23年）まで綿のハンカチーフの生産が禁止された時期があったことから、弊社の戦後は麻のテーブルクロス、ハンカチーフの製造販売でスタートしました。

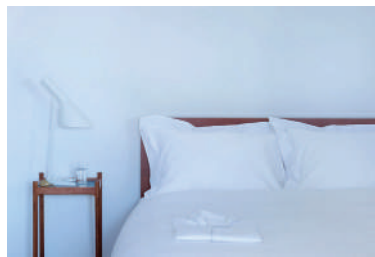
1985年（昭和60年）には、それまでの社名「株式会社中西儀兵衛商店」を「ブルーミング中西株式会社」に改め、ハンカチーフを主軸とした、テーブルクロス、ホテルリネン類など繊維製品を扱う専門商社として現在に至ります。

弊社は一枚の布にこだわり、創業の地であり、現在でも本社屋のある日本橋人形町から世界へ、これからも世界中の人々にモノづくりを通して、潤いと豊かさを提供してまいります。



#### 【会社概要】

|      |                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創業   | 1879年（明治12年）11月16日                                                                             |
| 設立   | 1932年（昭和7年）1月26日                                                                               |
| 代表者  | 取締役社長 中西 一                                                                                     |
| 資本金  | 1億円                                                                                            |
| 本社   | 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-2-8<br>TEL 03-3663-2331（代表）                                            |
| 事業内容 | 繊維製品企画販売                                                                                       |
| 取扱商品 | ハンカチーフ、ファッションアクセサリ商品（ポーチ、トートバッグ）<br>ホームアクセサリ商品（テーブルクロス、テーブルマット、エプロン、キッチンクロス）、ホテル用リネン類、その他繊維製品等 |





## 会員企業紹介 (五十音順)

### 株式会社武蔵富装

代表取締役社長 福原 輝彦

株式会社武蔵富装は平成7年12月(1995)の設立以来、衣料用繊維製品、衣料用雑貨品特殊繊維製品等官公需向け商品を中心に取り扱いまいました。

また、平成16年から新規商材、戦闘糧食・ミリメシを開発し官公庁を中心に製造、販売を開始致しました。今後も、これまでに培ってきた信用と信頼関係を大切に、独自性ある企画・提案を発信し、皆さまに喜んで頂ける会社となるよう努力してまいります。



#### 【会社概要】

商号 株式会社 武蔵富装  
設立 平成7年12月  
代表者 代表取締役社長 福原 輝彦  
資本金 4000万円

所在地  
本社 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目3-5 神田大木ビル  
TEL 03-5296-2833 FAX 03-5296-2788  
大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目14番14号  
新大阪グランドビル10F  
TEL 06-6392-1822 FAX 06-6392-1866  
ヤンゴン支店 Room No.802,SHWE HINTHAR TOWER A  
No.51,PYAY ROAD,HLAING TOWNSHIP,  
YANGON,MYANMAR  
TEL&FAX 95-(0)1-654784

事業内容 衣料用繊維製品の販売  
衣料用繊維雑貨の販売  
特殊繊維製品等の販売  
戦闘糧食、ミリメシの開発・販売



## お知らせ①



会員皆様のお手元に既にお届け致しております、欧州麻連盟（CELC）より翻訳のサポートを依頼された「リネン・テキスタイル Savoir & Faire（ノウハウ）」をご紹介します。この全16ページに及ぶ亜麻（リネン）の小冊子は、フランスのラグジュアリー Brand「HERMÈS」エルメス財団とアクト・シュッド出版社が共同出版した『テキスタイル』のリネンとリネン産業をテーマとした章を全文抜粋したものです。リネンが環境に与えたささやかな影響は、リネンが人類の文化と生活様式にもたらし続けてきた並外れた影響の軌跡と対照をなすものです。

## お知らせ②

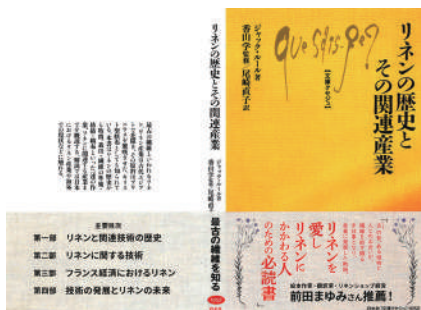
当協会会員であるトスコ（株）取締役 三原工場長 藤原洋治と帝国繊維（株）顧問 香山学 両氏が、昨年7月に繊維学会誌（Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan）にそれぞれ論文を掲載されましたのでご紹介させていただきます。

尚、全文は当協会ホームページに近日掲載いたします。

（繊維学会の掲載許可取得済み）



## お知らせ③



白水社 クセジュ文庫より5月末に一般書店で発売される『リネンの歴史とその関連産業』をご紹介します。会員の皆様には6月初旬に1冊ずつお届けする予定になっております。

『リネンの歴史とその関連産業』

ジャック・ルール著 尾崎直子訳 香山学監修

最古の繊維といわれるリネン。その歴史から特徴、生産、製造工程、関連産業を概説。解説では国内産業の歴史や海外の現況にも触れる。定価1320円（本体1200円）

## 日本麻紡績協会の現況

令和4年5月吉日

### 祝 設立 70 周年

#### (1) 現況

- ・ 当協会は1952年(昭和27年)5月1日、リネン(亜麻)、ラミー(苧麻)等の麻紡績業者によって設立された全国組織の団体です。本年は設立70周年目にあたる節目の年であります。2009年(平成20年)5月に協会組織を抜本的に改組しました。麻に関する事業者が業種を横断する組織として再出発、会員皆様のご協力によりまして今年13年目を迎えることが出来ました。現在会員数が107社、1協同組合、紡績、商社、各生産会社(撚糸、織、編、染色・加工、縫製)や企画、小売に至る、川上から川下まで麻に関する全ての業種に会員が拡大しております。相互に情報交換を重ねながら麻の流通拡大を通じて、消費者への麻の浸透に努めており、業界全体の発展をも目指しております。

#### (2) 麻を取り巻く市況

- ・ 長引くコロナ禍でアパレル業界は依然厳しい市場環境におかれつつも、今期は期中追加発注も途切れず、リネンテキスタイルの出荷量としては昨年を上回っており、穏やかではありますが回復傾向にあるといえます。ただ急激な円安によるコストの上昇が利益を圧迫しており、原材料の大部分を輸入に頼る麻業界としては、業界全体としての対外的アナウンス、価格への転嫁など、対応が急がれます。
- ・ 麻素材は、最も今日的なエコロジー・クール素材として、高温多湿な日本市場にはほぼ定着してきました。また、地球環境を意識したSDGs素材としても麻が一層注目され、更なる飛躍が期待されております。
- ・ 日本における麻素材を中心とした唯一の団体ASABO(日本麻紡績協会)の役割・存在感が益々高くなってきており、協会会員間のビジネスも取引から取り組みへと進化しつつあります。

#### (3) 国際連携

- ・ 会員数1万社を数える欧州麻連盟(CELC)に加え、中国麻紡績行業協会(会員300社)との連携が益々深まりつつあり、「原料は欧州、生産は中国、消費は日本!」という国際間ビジネス連携も着実に進化してきております。
- ・ 新型コロナウイルスの蔓延により、パリのブルミエール・ヴィジョンはじめ、国内外の多くのイベントが中止となり国際交流はネット上での情報交換が中心となりました。
- ・ 中国麻紡績行業協会では
  - ① 2021年10月8日「2021年 中国麻紡績行業協会 第八期 拡大会議
  - ② 2021年10月9～11日「上海インターテキスタイル春夏素材展示会」
  - ③ 2021年12月12日「2021 第八回 江西国際麻博覧会」
  - ④ 2022年4月開催予定の上海インテキテキスタイル春夏素材展示会は8月に延期

#### (4) 令和4年度 定例行事等

- ・ 令和4年1月14日 年賀交歓会 開催中止とさせていただきます。
- ・ 令和4年5月12日 理事会・総会 開催中止とさせていただきます。
- ・ 令和5年1月12日 年賀交歓会 開催を予定しております。
- ・ ホームページ更新作業進行中(画面一新、スマホ対応等)

## 日本麻紡績協会 107 社、1 協同組合（五十音順）

- ア 青葉株式会社  
 株式会社 AKAI  
 株式会社アクシス  
 浅記株式会社  
 朝日加工株式会社  
 旭紡績株式会社  
 アトモスフェール・ジャボン株式会社  
 株式会社アマックスコーポレーション  
 株式会社 ANTS JAPAN  
 アンダー株式会社  
 今村株式会社  
 岩田工房  
 栄光染色株式会社  
 越前屋多崎株式会社  
 エップヤーン有限公司  
 株式会社エヌ・ビー・アール  
 近江織物株式会社  
 株式会社大志茂  
 オーハシセンイ株式会社  
 大森撚糸株式会社  
 小千谷織物同業協同組合  
 カ カネマサ莫大小株式会社  
 有限会社金丸整理工業  
 甲株式会社  
 有限会社川登  
 株式会社カンセン  
 株式会社関東小池  
 菊高産業株式会社  
 岐セン株式会社  
 株式会社北国生活社  
 株式会社キョウワソーイング  
 株式会社金原  
 グロリア株式会社  
 桑村繊維株式会社  
 K B ツツキ株式会社  
 株式会社ケンランド  
 江東製織株式会社  
 興和株式会社  
 有限会社小啓修整織物  
 サ サイボー株式会社  
 澤染工有限会社  
 株式会社三幸  
 株式会社三幸ソーイング  
 株式会社三和リネン  
 有限会社シービープランニング  
 滋賀麻工業株式会社  
 信友株式会社  
 島村メリヤス株式会社  
 株式会社ジャスカ  
 聖天株式会社  
 新成物産株式会社  
 新陽株式会社  
 鈴木晒整理株式会社  
 有限会社鈴木由商店  
 装研株式会社  
 タ 株式会社ダイイチ  
 大恒株式会社  
 株式会社大長  
 株式会社タグチ  
 株式会社武田商店  
 株式会社タケミクロス  
 タッカ株式会社  
 辰野株式会社  
 田村駒株式会社  
 帝国繊維株式会社  
 有限会社テキスタイルベガ  
 株式会社テザック  
 東興産業株式会社  
 東洋繊維株式会社  
 東洋物産株式会社  
 東和株式会社  
 株式会社トーホーユニ  
 トスコ株式会社  
 殿岡服飾工業株式会社  
 豊川テキスタイル株式会社  
 豊田株式会社  
 ナ 中伝毛織株式会社  
 中村株式会社  
 有限会社ナカモリ  
 西本株式会社  
 西山繊維株式会社  
 日新実業株式会社  
 ニット技研  
 ハ ハイランド株式会社  
 服部テキスタイル株式会社  
 平岡織染株式会社  
 株式会社廣瀬商会  
 廣瀬又一株式会社  
 藤居織物工場  
 ブルーミング中西株式会社  
 株式会社穂高商事  
 マ 株式会社麻絲商会  
 丸佐株式会社  
 丸進工業株式会社  
 株式会社丸萬  
 三重ユニフォーム株式会社  
 株式会社三崎  
 ミマス株式会社  
 未来テクノ株式会社  
 株式会社武蔵富装  
 株式会社むつ縫製  
 森菊株式会社  
 森保染色株式会社  
 ヤ 山甚物産株式会社  
 株式会社ユニウエル  
 ラ 有限会社リネット  
 リネンハウス株式会社  
 ワ 株式会社ワールドプロダクションパートナーズ

## MEMO



日本麻紡績協会

〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL 03-3668-4641

FAX 03-3668-4642

Email [jp-asabo@cb.wakwak.com](mailto:jp-asabo@cb.wakwak.com)

URL <http://www.asabo.jp/>

令和4年5月31日発行

本誌表題について

「麻につるる」は、ことわざ「麻につるる蓮（よもぎ）」に由来しています。  
ことわざの意味は、「曲がって生えやすい蓬でも、真っ直ぐに生える麻の中で育てば、曲がることなく自ずと伸びる」ということです。  
転じて、善良な人々に交われば、殊更に教育をしなくとも自然に善良な人に育つ、という意味に用いられます。  
日本麻紡績協会におきましても、麻に携わることを生業（なりわい）としている我々は、このビジネスに打ち込んでいる、それだけで真っ直ぐなどビジネス人生を描いて、成長していくことができる、そういう想いと願いを込めて、当協会誌のタイトルといたしました。



Photo by CBLFTA

## 日本麻紡績協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-1-10

TEL: 03-3668-4641

FAX: 03-3668-4642

Email: [jp-asabo@cb.wakwak.com](mailto:jp-asabo@cb.wakwak.com)

URL: <http://www.asabo.jp/>